

# まごころふちゅう

vol.  
16

2024.02 発行  
府中病院 広報誌

08-11

当院で活躍する  
心不全療養指導士

／開院／  
泉大津急性期  
メディカルセンター

／リニューアル／  
府中病院

表紙：竹内院長、西川院長代理

2024年12月泉大津市立病院と府中病院は機能を再編・統合します



2024年12月1日開院予定

# 泉大津急性期メディカルセンター IZUMIOTSU MEDICAL CENTER

「愛の医療で、人に、地域に、安心を」

泉大津市立病院と府中病院は機能を再編・統合します。

それに伴い、高水準の医療提供が可能な高度急性期病院として泉大津急性期メディカルセンターを、現在の府中病院は、回復期病院へと役割を変え、それぞれが専門性を高め、安全で安心な医療提供をめざします。

NEW



### 診療科(予定)

- 内科
- 循環器内科
- 血液内科
- 脳神経内科
- 消化器外科
- 呼吸器外科
- 乳腺外科
- 脳神経外科
- 泌尿器科
- 皮膚科
- 放射線治療科
- 救急科
- 病理診断科
- 消化器内科
- 呼吸器内科
- 内分泌内科
- 外科
- 肝胆膵外科
- 心臓血管外科
- 整形外科
- 形成外科
- 婦人科
- 放射線科
- リハビリテーション科
- 麻酔科

## 再編統合による新体制

2025年から2040年にかけての人口減少・高齢化に伴う医療ニーズの質・量の変化や労働力人口減少を見据え、地域に質の高い医療を提供できる体制づくりが求められています。泉州二次医療圏の地域医療構想の一環である「泉大津市立病院・府中病院の再編統合」に伴い、病床再編と機能分化を行います。

### 現在

府中病院 (民営)	泉大津市立病院 (公設公営)
ICU、HCU、急性期、 地域包括ケア、回復期リハ	周産期・小児、急性期
380床	230床

## 新 3つの病院の協力体制

NEW

回復期・慢性期	急性期	周産期・小児
 府中病院 (民営) ※府中病院をリニューアル	 泉大津急性期 メディカルセンター (公設民営)	 泉大津市立周産期 小児医療センター (公設公営)
地域包括ケア、回復期リハ	高度急性期、急性期	周産期、小児
167床	300床	82床

泉大津急性期  
メディカルセンター  
特設サイトを  
ぜひご覧ください



### 8月末竣工予定!

開院へ向けて現在、建設  
工事を進めています!  
最新の工事状況を紹介し  
ています。

### 私たちと一緒に 働きませんか?

新病院の開院に伴い、職  
員を拡充募集しています。

### 院内紹介





地域の皆さまや医療機関のニーズにお応えすることを基本とし、特色のある(がん・救急・災害など)高度急性期・急性期医療を中心とした医療を展開します。

## 特色

### がん

手術支援ロボットや放射線治療などの最新鋭の医療機器を導入し、低侵襲手術、放射線治療、化学療法などを組み合わせた集学的治療を提供します。

#### ロボット支援手術

現在府中病院では、腹腔鏡手術・ロボット支援手術を積極的に行っており、その実績を引き継ぎ、さらにロボット支援手術を充実させていきます。

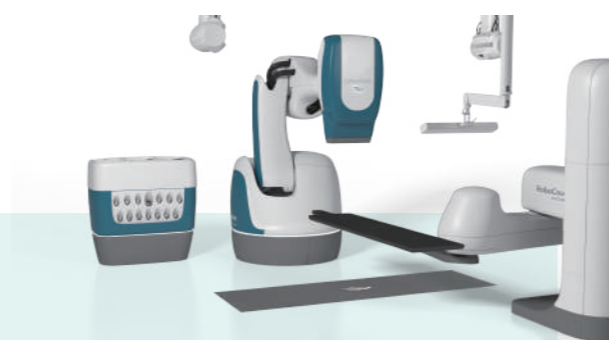


#### 化学療法

外来化学療法室(14床)を整備し、患者さんが生活の質を保ちながら「安全で、安心して、より快適な環境で治療が受けられる」体制を整え、多職種からなるチームでサポートします。

#### 放射線治療

放射線治療機器は、通常のリニアックに加えサイバーナイフを導入する2台体制とし、より精度の高い放射線治療を提供します。



#### サイバーナイフ適応疾患

- 頭部・頭頸部  
良性腫瘍(聴神経腫瘍など) / 悪性腫瘍(転移性脳腫瘍など) / 脳血管疾患(脳動静脈奇形など)
- 脊椎・脊髄  
転移性脊椎腫瘍、脊髄腫瘍 など
- 胸部・腹部  
肺がん(原発性・転移性) / 肝がん(原発性・転移性) / 腎がん(原発性) / 膵がん(原発性) など
- 骨盤部・その他  
前立腺がん など

### 災害

泉州地域では、南海トラフ地震の発生による甚大な被害が想定されており、医療機関には大きな役割が求められます。泉大津急性期メディカルセンターは、災害時にも医療機能を維持し、地域の皆さまの命を守る体制を確立します。

#### 免震構造

災害時にも医療機能を維持し、早い復旧をめざします。

#### ライフライン

電気・水道・ガスなどのライフラインを72時間確保できるシステムを整備しています。

#### 災害時の危機管理体制

事業継続計画(BCP)を策定し、災害時に実際に対応できるよう、職員に教育と訓練を行っています。

### 救急

#### 受け入れ体制

急病救急センターの機能向上、特に心血管・脳血管疾患の受け入れを強化します。

#### 集中治療

集中治療センターとして、ICU(集中治療室)・HCU(高度治療室)を整備します。

#### 市との連携

消防本部との密接な連携を構築します。

## 泉大津急性期メディカルセンター

〒595-0031 大阪府泉大津市我孫子97番1



#### 電車・バスをご利用の場合

- JR阪和線「和泉府中駅」西口から徒歩約9分
- 南海本線「泉大津駅」から南海バス(父鬼線・泉大津光明池線)で「我孫子」停留所を下車徒歩約3分
- 泉北高速鉄道「和泉中央駅」から南海バス(泉大津駅前行き)で「我孫子」停留所を下車徒歩約3分

#### 車をご利用の場合

- 大阪方面から  
国道26号阪和豊中交差点をすぎて側道へ入り、穴田交差点を右折して直進
- 和歌山方面から  
国道26号板原交差点をすぎて側道へ入り、穴田交差点を左折して直進

2024年12月1日  
リニューアル

# 府中病院

FUCHU HOSPITAL

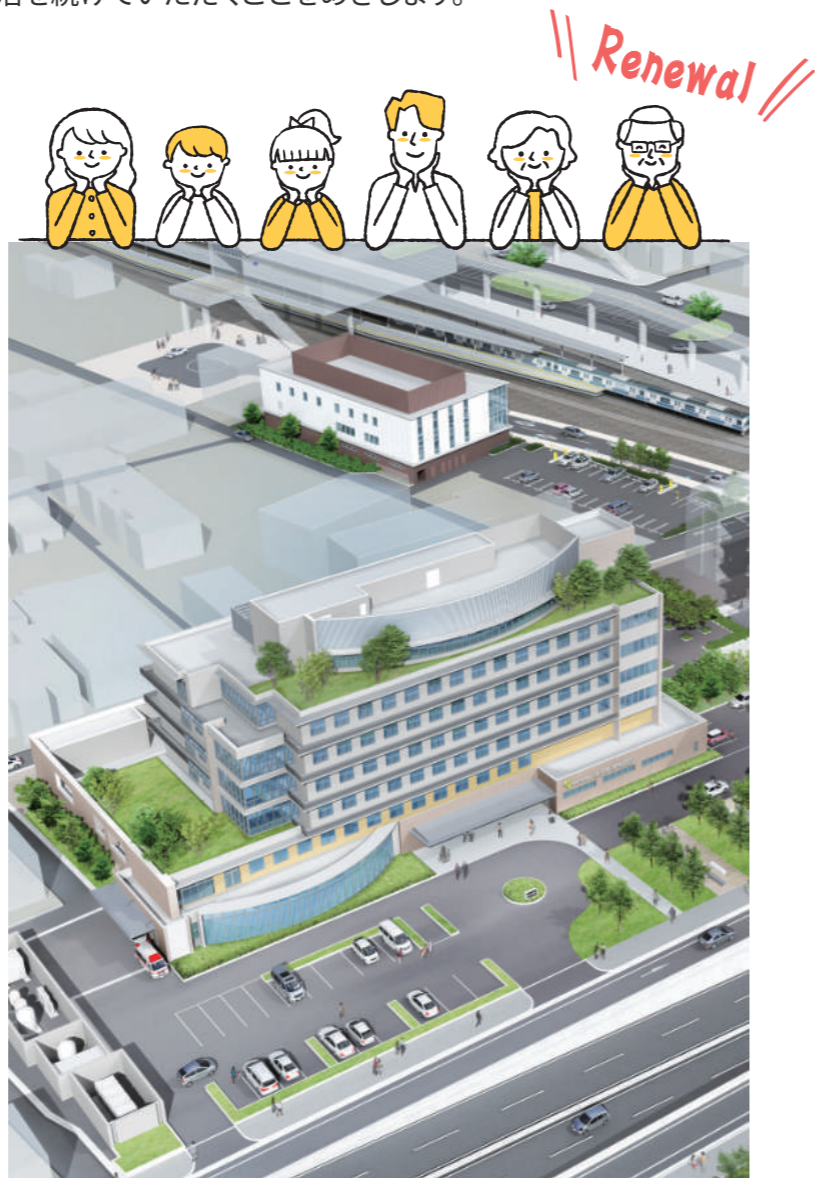
回復期リハビリテーション病棟、地域包括ケア病棟が中心の地域包括ケア拠点病院

## 「患者さんを家に帰し、そして支える」

5つのサービス(医療・介護・介護予防・生活支援・住まい)を総合的に提供し、  
各々の状態に即した地域包括ケアシステムを提供できる駅前複合施設をめざします。

## 「その人らしく — be yourself —」

住み慣れた地域で能力に応じて自立した生活を続けていただくことをめざします。



2025年最終形態

- 診療科(予定)**
  - 内科 ●リハビリテーション科
  - 糖尿病内科 ●泌尿器科(透析センター)
  - 眼科(アイセンター)
- 透析**
  - 74床
- 手術室**
  - 4室(うちアイセンター3室)
- 救急機能**
  - 二次救急告示病院(内科)
- 在宅**
  - 在宅療養支援病院
- 設備**
  - CT ●MRI
  - X線透視装置 ●X線一般撮影
  - 超音波装置 ●心電図
  - 血圧脈波検査装置(ABI) ●脳波計など

## 病棟のご紹介

### 地域包括ケア病棟

#### 在宅復帰をめざす方の治療と支援をする病棟

ご自宅や施設で体調が悪くなった方や急性期治療が終了したものの退院後の生活が不安な方、もう少しリハビリテーションを受けたい方など、疾患を問わず、在宅復帰をめざす方はどなたでも受け入れできる病棟です。疾患に対する治療はもちろん、在宅復帰を支援するためのリハビリテーションを提供します。

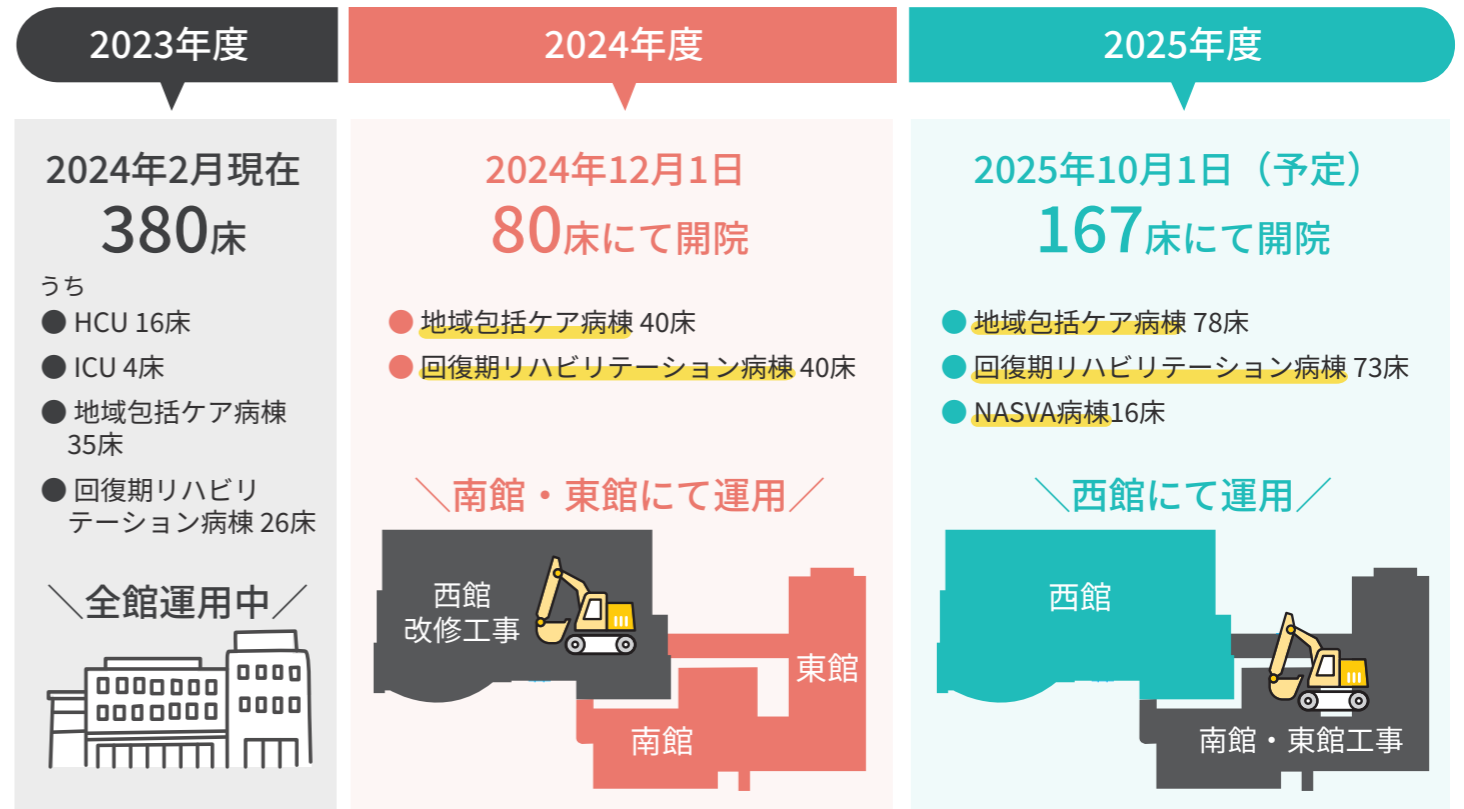
### 回復期リハビリテーション病棟

#### 集中的なリハビリテーションを提供する病棟

脳卒中などの脳血管疾患や大腿骨や脊椎などの骨折の急性期治療が終了した患者さんを受け入れます。多職種によるチームで質の高いリハビリテーションを提供し、無理のない早期の在宅復帰をめざします。退院後には関連施設や地域の病院、施設などと連携し、退院後の生活を支援します。



## 今後のスケジュール





# 今、求められている資格、 心不全療養指導士

Certified Heart Failure Educator

心不全は、様々な心臓病が原因となって、息切れやむくみなどの症状を認める状態(病状)のことをさしますが、最大の問題点は、一度発症すると再発を繰り返し、寿命を縮めてしまうことです。多くの方は、がんが最も怖い病気と思われていますが、実は心不全を発症してからの寿命は、がんを発症してからの寿命とほぼ同じか、がんの種類によっては、心不全の方が短いこともあり、決して油断できない病状なのです。

そこで、心不全を再発しないためには、原因となった心臓病に対してお薬を中心とした適切な治療を行い、病状を安定させることが基本ですが、安定した状態を維持する(再発しない)ためには、患者さん自身の体調管理(自己管理)も非常に重要です。日々の血圧・体重測定、薬を忘れずに飲む、減塩に注意した食事、適度な運動、介護など社会支援の調整などが必要となります。そのため、心不

全患者の指導は、医師だけではなく、看護師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士、社会医療福祉士、臨床心理士など様々な専門的知識を持った職種が連携して行います。しかし、社会の高齢化により、心不全患者はますます増加しており、個々の患者さんが抱えている問題も多様化したため、各職種も心不全診療全般の知識を持ったうえでより質の高い専門的な指導を行うことが必要となりました。

日本循環器学会は、2021年度から「心不全療養指導士」という新たな資格認定制度を開始しました。この制度は、医療に関わる国家資格をもった者が、心不全診療に必要な基本的知識や技能を習得したことで認定されます。現在、府中病院では、看護師、管理栄養士、薬剤師の合計8名が心不全療養指導士の資格を取得し、幅広い専門知識を持ちながら、入院や外来での心不全患者指導を行っています。

府中病院の  
「心不全療養指導士」  
資格取得者



## 医療従事者の方へ

退院した心不全患者さんの生活の場は、自宅や施設などの地域になります。心不全の知識があれば、日常生活でみられたささいな体調変化に気づき、早期に適切な対応をとり、心不全悪化による入院を避けることができます。今後も高齢心不全患者さんが増加することが予測されています。

病院スタッフだけではなく、訪問看護師、クリニックや施設スタッフが心不全療養指導士となり、病院と地域が連携して心不全患者さんのケアにあたるのが求められています。

今後ますます必要とされる資格である  
「心不全療養指導士」に  
ぜひチャレンジしてください。



はなたに あきひさ  
生長会 心不全センター長 花谷彰久

日本循環器学会WEBサイト「心不全療養指導士」のページをぜひご覧ください



# 府中病院で活躍する 「心不全療養指導士」

なぜ資格を取得しようと思ったのか、  
資格を取得するまでの苦労話、  
資格をとって良かったこと、  
今後の目標についてうかがいました!



／ 東HCU 看護師 ／



循環器内科病棟で勤務していた際、たくさんの心不全患者さんと接してきました。その中で、心不全の原因追求、社会的背景、日常生活の情報、セルフマネジメントの支援、多職種連携の必要性と難しさを学びました。そこで、経験知だけでなく、専門的な知識を習得したうえで、患者さん、ご家族と関わりたいと思い心不全療養指導士を習得しました。資格を習得し、良かったことは知識の整理と看護の役割が理解できたことです。今後は、療養指導に必要な情報を収集し、多職種と連携することで療養指導を実践したいです。

／ 入退院サポートセンター 看護師 ／



循環器内科病棟、入退院サポートセンターで勤務する中で、入退院を繰り返す心不全の患者さんに何か役にたてることはないかという思いがありました。専門的な知識をもって心不全の発症予防や再発・重症化予防のための療養指導を行いたいと思い資格を取得しました。現在は、心不全療養指導士として患者さんやご家族の気持ちを尊重した意思決定や療養生活の支援を、心不全ケアチームや心不全看護外来、病棟、多職種と連携しながら行っています。これからも入退院を繰り返すことなく、その人らしい生活が継続できるような療養指導を行っていきたいと思います。

／ 薬剤師 ／



循環器内科病棟を担当しているのですが、心不全について体系的に学べる機会を探していました。そんな時に、心不全療養指導士の認定制度が始まったことを知り、挑戦してみようと思いました。心不全療養指導士になるためには、薬だけではなく幅広い知識が必要で、その部分はとても大変でした。薬の数や頻度に悩む患者さんに寄り添い、セルフメンテナンス・セルフマネジメントの必要性を理解していただき、患者さんがそれを実生活に活かせるよう、活動していきたいです。

／ 西5病棟・ICU 看護師 ／



きっかけは、尊敬する先輩看護師からの一言でした。心不全について、一から学習していくうちに日頃行っている指導や看護への考え方が変わりました。自分が患者さんやご家族へ説明する一言一言が、今後の療養生活にどのように影響するのかを考えながら関わろうと心がけるようになりました。また、病棟内で心不全看護について伝える際に、以前よりも少しは自信を持って行えるようになったかなと思います。

／ 西5病棟・ICU 看護師 ／



循環器内科病棟で心不全について指導する機会が増え、心不全についてもっと深く学習しなければならないと思っている中で心不全療養指導士という資格があることを教えていただき、自己研鑽のためにも取得してみようと思いました。資格習得に向けて、学習・症例報告書の作成を行い、心不全に至った経緯はそれぞれ違うため、患者さんにあった指導方法を考えることが改めて大切だと感じました。今後も、心不全療養指導士の資格を活かして日々、患者さんと関わっていききたいと思います。

／ 薬剤師 ／



循環器内科病棟で服薬指導に関わる中で、様々な問題を抱える心不全患者さんに出会いました。心不全の療養にはセルフケアが重要になります。薬剤以外にも幅広い知識が必要だと感じ、資格取得を目指しました。病態・栄養・リハビリテーション・社会サービスなど多分野にわたり勉強も大変でしたが、多方面から問題点にアプローチできるようになったと思います。無理なく薬物治療が継続できるよう、患者さんの生活スタイルに合わせた服薬指導を心がけ、多職種で協働し患者さんの療養を包括的に支援していきたいと考えています。

／ 管理栄養士 ／



循環器内科病棟を担当しており、今後の心不全指導に活かせたらと思い資格を取得しました。資格取得までの症例報告書の作成や、試験のための勉強は大変でしたが、今まで深く理解できなかった病態や治療薬、運動療法など栄養以外の部分についても理解することができました。今後、今回得た知識を活かして心不全患者さんの栄養管理・指導に力を入れていきたいです。

## 急性期病院としてのお願い

当院には、救急車で搬送される患者さん、緊急に入院の必要な患者さん、他の医療機関からのご紹介で手術や精密な検査を行う患者さんが多数来られます。

当院は、このような重症患者さんを迅速に受け入れ、特に緊急の治療が必要な病気やケガに対して、急性期の医療を行っています。そのためには日ごろから入院用の空きベッドを準備しなければなりません。

こうした理由から当院では、病状が落ち着きましたら早期の退院、他院への転院、施設への入所をお願いしております。北泉州地域の救急用ベッドを、次に必要な救急・重症患者さんにご提供するために、ご理解とご協力をお願い申し上げます。



救急・重症の状態



府中病院で急性期治療

急性期治療が  
落ち着けば



他院へ転院



ご自宅へ退院



施設へ入所

## AIF 総合相談センター／がん相談支援センターのご案内

AIF 総合相談センターは、患者さんやご家族の皆さんの療養生活に関するご不安やご不明なことを各専門分野のスタッフが、皆さんと一緒に考えていく窓口です。また、当院は「大阪府がん診療拠点病院」であり、がんに関する治療や療養生活全般、地域の医療機関などについて相談することができます。何でもお気軽にご相談ください。ご相談をご希望の方は、AIF 総合相談センターのスタッフまでお申し出ください。

※患者さんの相談内容の秘密は厳守いたします。

◆ 相談時間：月～土曜日（祝日除く）9：00～17：00

◆ 場 所：西館1階 総合受付横



### 府中病院の 基本方針

Excellent hospital  
一最高の病院を目指すー

単に良い病院ではない、さらに良い病院でもない、  
自他ともに認める最高の病院を目指します！

### 私たちの 理念

使命 愛の医療と福祉の実現

会是 地域と職員と共に栄えるチーム  
Yu・ki・to・do・ku  
ゆき届いたサービス

### 診察時間のご案内

#### [受付時間]

午前受付 8：00～11：45

午後受付 各診療科により異なります

#### [診療時間]

午前診療 9：00～

午後診療 各診療科により異なります

#### [休診日]

日曜日・祝日・年末年始

※救急診療は行っていますのでお問い合わせください



府中病院

〒594-0076 大阪府和泉市肥子町1丁目10番17号

Tel.0725-43-1234 <http://seichokai.jp/fuchu/>

府中病院広報誌「まごころふちゅう」Vol.16 / 2024年2月発行 編集・発行 / 府中病院 企画室

